

リモート解析システム利用についてのガイドライン

弘前大学 COI データ管理委員会

1. 目的

本ガイドラインは、弘前大学 COI データ管理委員会（以下、「データ管理委員会」という）が運用又は指定するリモート解析環境（以下、「リモート解析システム」という）を使用し、弘前大学外からVPN その他 データ管理委員会が認める安全な通信手段を用いて、学内又はクラウド上に設置された解析用端末へ接続するにあたって必要な事項を定めることを目的とする。

※リモート解析システムには、NTT・IPA が提供するシン・テレワークシステムのほか、Amazon Web Services が提供する Amazon WorkSpaces 等を含むものとする。

2. 利用者の資格

リモート解析システムを利用できる者（以下、「利用者」という）は、データ管理委員会により承認された「様式1_データ解析申請書」に記載されているデータ解析者（データを扱う者）に限る。

3. 利用の申請

リモート解析システムを利用しようとする者は、「様式9_リモート解析利用申請書」をデータ管理委員会に提出し、承認を受けなければならない。

4. 利用の承認及び更新

1. データ管理委員会は、前条の申請を審査し、適当と認めた場合には利用を承認し、当該リモート解析システムの利用に必要なアカウントを付与する。
2. リモート解析システム用アカウントの有効期限は、原則として利用開始日から最大3か月とする。ただし、データ管理委員会が個別に認めた場合はこの限りではない。
3. 利用更新は、「様式1_データ解析申請書」に記載されたデータ解析期間内に限り申請できるものとする。
4. リモート解析システムへのアクセスは、承認を受けた利用者本人に限る。

5. 付与アカウントの転用及び第三者利用の禁止

利用者は、付与されたアカウントを、申請書に記載された利用目的以外に使用してはならず、また第三者に利用させてはならない。

6. アプリケーションの利用制限

1. リモート解析システム上で使用できるアプリケーションは、原則として「様式9_リモート解析利用申請書」に記載し、承認を受けたものに限る。
2. リモート解析システム上に新たにアプリケーションをインストールする場合は、事前に申請し、データ管理委員会の許可を得なければならない。
3. 外部ネットワーク（インターネット）との通信を必要とするアプリケーションの利用は、原則として禁止する。ただし、研究上やむを得ない場合は、申請書に記載の上、必要最小限の範囲で申請し、個別に許可を受けるものとする。
4. 利用者は、各アプリケーションのライセンス条件等を厳密に遵守し、自らの責任において利用するものとする。

7. リモート解析用端末の管理方法について

アクセス元端末とは、利用者が所属する研究機関等（学外）に設置され、リモート解析システムに接続するために使用する端末をいう。アクセス先端末とは、学内又はクラウド上に設置され、利用者がアクセス元端末から接続して解析等を行う端末（Amazon WorkSpaces 等を含む。）をいう。以下、アクセス元端末及びアクセス先端末を併せて「リモート解析用端末」という。

利用者は、リモート解析用端末の管理に関し、以下の事項を遵守しなければならない。

1. ログイン ID、パスワード、認証情報等は、他者に知られないよう厳重に管理すること。
2. アクセス元端末は、施錠可能な部屋で適切に保管すること。
3. リモート解析用端末について、常時ウイルス等の不正なソフトウェアの混入を防ぐ適切な措置をとること。また、その有効性・安全性の確認・維持（例えば、パターンファイルの更新の確認・維持やウイルス対策ソフトウェアを常に最新の状態に維持）を行うこと。
4. リモート解析システム利用中に離席の場合はクローズ処理を施すこと。（クリアスクリーン：ログオフあるいはパスワード付きスクリーンセ이버等）

8. セキュリティインシデント発生時の対応

利用者は、次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合、速やかにデータ管理委員会へ報告しなければならない。

1. リモート解析用端末にウイルス感染の疑いがある場合
2. 不正アクセスを受けた可能性がある場合
3. リモート解析用端末（クラウド上に設置されるものを除く。）の盗難・紛失が発生した場合
4. 認証情報（ID、パスワード等）が第三者に漏えいした可能性がある場合

9. 利用資格の取り消しについて

データ管理委員会は、利用者が本ガイドライン又は承認条件に違反した場合、又は承認された目的以外にリモート解析システムを利用した場合には、当該利用資格を取消し、又は利用を停止することができる。

10. 免責事項

データ管理委員会は、リモート解析システム（シン・テレワークシステム、Amazon WorkSpaces 等を含む。）の利用若しくは利用不能又はこれらに関連して利用者若しくは第三者に生じた損害（利用に際して生じたウイルス若しくはマルウェア等への感染、リモート解析システムの利用停止、休止、中断若しくは制限、動作不良又は通信回線の障害により生じた損害を含む。）について、一切の責任を負わないものとする。

ただし、データ管理委員会の故意又は重大な過失により当該損害が生じた場合は、この限りでない。